

【1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実】

関連するSDGs17の目標



<b>4年間で実現したい姿</b>	<b>小学校に入学した子どもが安心感を持って新しい学校生活に移行し、主体的に自己を発揮して成長しています。</b>						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 幼稚園・保育所・認定こども園などと小学校が連携することで、「小1プロブレム」を防ぎ、学校に行くことが楽しくなるようにすることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小学1・2年生の不登校児童数		0人	0人				0人
【実施計画事業】		担当課			国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策		総合戦略
1 幼保小連携事業		総務学事課 福祉課					ひと



実施計画事業 I

事業名	幼保小連携事業			担当課	総務学事課 福祉課
根拠法令	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律		関連計画		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児期の育ちと学びを小学校以降の学習などにつなげるための教育課程を編成します。</li> <li>● 行事、研修会などを通じて幼保小の交流を促進します。</li> </ul>		概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼保小接続カリキュラムを作成して実践することで、小学校に入学した子どもが安心して生活できるようにします。</li> <li>○ 幼保小の教職員の連携や交流を進めることで、幼保の育ちと学びを小学校につなぐことができるようにします。</li> </ul>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	0	0	0	0
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
【事業指標】 大竹・小方・玖波小学校での教職員の連携及び子ども同士の交流回数(平均)					
目標値		3回	3回	3回	3回
実績値	1.3回				
取組内容	幼保小接続カリキュラムを作成しました。また、幼保小連絡会や交流、小学校教員による保育体験を実施しました。	幼保小接続カリキュラムの実践と見直しを行うとともに、幼保小連絡会などを通して、幼保小の連携を進めました。	幼保小接続カリキュラムの実践と見直しを行うとともに、幼保小連絡会などを通して、幼保小の連携を進めていきます。	幼保小接続カリキュラムの実践と見直しを行うとともに、幼保小連絡会などを通して、幼保小の連携を進めていきます。	幼保小接続カリキュラムの実践と見直しを行うとともに、幼保小連絡会などを通して、幼保小の連携を進めていきます。

4年間で実現したい姿		児童・生徒が主体的に学習に取り組む環境が整い、社会で生き抜く力やコミュニケーション能力を身につけるための学校教育活動が行われています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 学校生活を通して成長した子どもの姿を見て、保護者が学校の教育活動に満足することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合		91%	94%				95%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
2 教育推進事業 (ICT活用事業・指導体制の充実・小中学校の連携)		総務学事課					ひと
3 教育推進事業(学校情報の公開)		総務学事課					ひと
4 教育振興事業(英語力向上事業)		総務学事課					ひと
5 小学校・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)		総務学事課		A-1②,B-4①,C-2① G-1①			



実施計画事業 2

事業名	教育推進事業(ICT活用事業・指導体制の充実・小中学校の連携)			担当課	総務学事課	
根拠法令	学校教育法、学習指導要領	関連計画				
取組の方針	<p>●9年間での教育活動を見据え、小学校と中学校の連携を強化します。</p> <p>●個々の特徴や理解度に応じて学習課題に主体的に取り組むことができるよう、児童・生徒1人1台学習者用端末などの効果的な活用を行います。</p> <p>●教員研修を実施し、個々の理解度や発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導や生徒指導を充実させます。</p>			概要	小・中学校合同研修の実施などを通して小・中学校の連携を強化し、授業改善や生徒指導の充実を進めます。また、1人1台学習者用端末の効果的な活用や個々の理解度や発達段階に応じた学習指導等についての授業研究を進めます。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	47,734 (内繰越分)28,490	22,716	27,958	28,888	29,113	
財源内訳	国県費	14,375	24	88	142	156
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	33,359	22,692	27,870	28,746	28,957
【事業指標】 学習者用端末の活用によって児童生徒の主体的な学びにつながったと感じる教員の割合						
目標値		70%	85%	95%	95%	
実績値	—					
取組内容	1人1台学習者用端末導入のための準備を進め、全校配備が完了しました。また、校内ネットワーク環境についても、全校整備が完了しました。 ※令和2年度末に、1人1台学習者用端末及び校内ネットワーク環境の全校整備が完了したため、実績値は令和3年度以降からとなります。	児童生徒が授業で学習者用端末を効果的に活用できるための研修を実施し、校内への普及を行いました。各校1回ずつ、ICTを活用した授業研究を行う研修会を実施し、授業や家庭学習での効果的な活用の在り方について、市内の学校で共有しました。	引き続き、児童生徒が授業で学習者用端末を効果的に活用できるための研修を実施し、校内への普及を目指します。各校1回ずつ、ICTを活用した授業研究を行う研修会を実施し、授業や家庭学習での効果的な活用の在り方について、市内の学校で共有します。	引き続き、児童生徒が授業で学習者用端末を効果的に活用できるための研修を実施し、校内への普及を目指します。各校1回ずつ、ICTを活用した授業研究を行う研修会を実施し、授業や家庭学習での効果的な活用の在り方について、市内の学校で共有します。	引き続き、児童生徒が授業で学習者用端末を効果的に活用できるための研修を実施し、校内への普及を目指します。各校1回ずつ、ICTを活用した授業研究を行う研修会を実施し、授業や家庭学習での効果的な活用の在り方について、市内の学校で共有します。	

【1-1】

## I\_教育・文化

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【事業指標】 総務学事課職員が授業観察などのため毎月1回以上訪問する学校の割合					
目 標 値		100%	100%	100%	100%
実 績 値	67%				
取組内容	学校訪問、校内研修などの際に、指導助言をするとともに、教職員を対象にした研修を実施しました。	学校訪問、校内研修などの際に、指導助言を行いました。また、様々な分野の教職員研修を実施し、教職員の資質・能力の向上に取り組みました。	引き続き、学校訪問、校内研修などの際に、指導助言を行います。また、様々な分野の教職員研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を目指します。	引き続き、学校訪問、校内研修などの際に、指導助言を行います。また、様々な分野の教職員研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を目指します。	引き続き、学校訪問、校内研修などの際に、指導助言を行います。また、様々な分野の教職員研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を目指します。
【事業指標】 中学校区における小・中学校の連携を毎月1回以上実施している学校の割合					
目 標 値		100%	100%	100%	100%
実 績 値	100%				
取組内容	各中学校区で小・中学校合同企画委員会を開催しました。また、小・中学校共通の教育目標の設定や、小・中学校合同研修会の実施、児童・生徒の交流などを行い、小・中学校の連携を行いました。	小・中学校連携を推進し、9年間を見通した教育活動の充実に向け、合同研修、教職員や児童生徒の交流などを行いました。	引き続き、小・中学校連携を推進し、9年間を見通した教育活動の充実に向け、合同研修、教職員や児童生徒の交流などを行います。	引き続き、小・中学校連携を推進し、9年間を見通した教育活動の充実に向け、合同研修、教職員や児童生徒の交流などを行います。	引き続き、小・中学校連携を推進し、9年間を見通した教育活動の充実に向け、合同研修、教職員や児童生徒の交流などを行います。



## 実施計画事業 3

事業名	教育推進事業(学校情報の公開)			担当課	総務学事課
根拠法令	学校教育法	関連計画			
取組の方針	保護者の不安や疑問を解消するため、ホームページなどで学校の教育計画などを積極的に公開します。		概要	学校だよりやホームページなどで、教育計画や学校の取組、児童生徒の様子を積極的に発信します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	0	0	0	0
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
【事業指標】毎月1回以上ホームページを更新する学校の割合					
目標値		100%	100%	100%	100%
実績値	100%				
取組内容	各校で学校だよりやホームページを作成し、学校の取組や児童生徒の様子について定期的に発信しました。	引き続き、学校だよりやホームページを使って、学校の様子や取組を広く発信しました。	引き続き、学校だよりやホームページを使って、学校の様子や取組を広く発信していきます。	引き続き、学校だよりやホームページを使って、学校の様子や取組を広く発信していきます。	引き続き、学校だよりやホームページを使って、学校の様子や取組を広く発信していきます。



実施計画事業 4

事業名	教育振興事業(英語力向上事業)			担当課	総務学事課
根拠法令	大竹市英語検定助成事業実施要綱		関連計画		
取組の方針	<p>●教職員への研修を実施し、英語指導力の向上に取り組みます。</p> <p>●授業や日常の活動で児童生徒が英語を「聞く」「読む」「書く」「話す」回数を増やします。</p>		概要	市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を全額助成(年1回)します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	412	675	838	838	838
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	412	675	838	838
【事業指標】 12月1日時点での中学3年の英語検定3級以上取得者割合					
目標値		40%	40%	40%	40%
実績値	29.4%				
取組内容	中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、全額助成(年1回)しました。	中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、全額助成(年1回)しました。	中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、全額助成(年1回)します。	中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、全額助成(年1回)します。	中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生を対象に、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、全額助成(年1回)します。



## 実施計画事業 5

事業名	小学校・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業)			担当課	総務学事課
根拠法令	学校教育法、地教行法、学校保健安全法	関連計画	大竹市公共施設等総合管理計画 大竹市学校施設等長寿命化計画		
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童・生徒の学びと成長を支える教育の充実のため、学校施設を適切に維持管理します。</li> <li>●大竹市公共施設等総合管理計画に基づいて、施設の統廃合や集約化等の考え方により計画的な施設整備を進めます。</li> </ul>	概要	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。 令和6年度に利用を開始する予定です。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	—	9,469	118,430	305,000	—
財源内訳	国県費	9,469	0	0	—
	地方債	0	0	0	—
	その他	0	94,000	305,000	—
	一般財源	0	24,430	0	—
【事業指標】 大竹小学校プール建設事業の整備率(事業費ベース)					
目標値	—	—	30%	100%	—
実績値	—	—	—	—	—
取組内容	—	大竹小学校と大竹中学校のプールの解体設計及び新たに建設するプールの設計業務を行います。	令和5年度にかけて解体工事を行い、建設工事を行う予定です。	引き続き、建設工事を行う予定です。	※令和5年度で終了予定。

4年間で実現したい姿		居住地や経済的な事情に左右されことなく、児童・生徒・学生が就学・進学することができています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 義務教育を終えた中学校卒業生が、進学したいにもかかわらず、居住地や経済的な事情のため、進学以外の選択をすることを防ぎます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
中学校卒業生の進学率		100%	100%				100%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
6	遠距離通学支援事業 (阿多田地区高校生等就学支援事業)	総務学事課					ひと
7	奨学金貸付事業	総務学事課					ひと



## 実施計画事業 6

事業名	遠距離通学支援事業 (阿多田地区高校生等就学支援事業)			担当課	総務学事課	
根拠法令	大竹市阿多田地区高校生等修学支援費 補助金交付要綱、大竹市補助金等交付 規則		関連計画			
取組の 方針	阿多田地区の児童・生徒・学生の保護者の 経済的支援を継続します。制度利用の漏れ がないよう、周知を強化します。		概要	阿多田地区からの通学などを支援するた め、フェリー代相当額を支援します。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	1,360	1,180	1,703	1,135	1,135	
財源 内訳	国県費	1,360	1,180	1,703	1,135	1,135
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
【事業指標】 支給した保護者の割合(遠距離通学支援事業)						
目 標 値		100%	100%	100%	100%	
実 績 値	100%					
取組 内容	基金を活用 した阿多田地 区の児童、生 徒及び学生の 保護者の経済 的支援を継続 し、制度利用 の漏れがない ように周知を しました。 支給した人 数は8名です。	引き続き、 阿多田地区の 支援を行いま す。 支給予定人 数は7名です。	引き続き、阿多田 地区の支援を行いま す。 支給予定人数は9 名です。	引き続き、阿多田 地区の支援を行いま す。 支給予定人数は6 名です。	引き続き、阿多田 地区の支援を行いま す。 支給予定人数は6 名です。	



実施計画事業 7

事業名	奨学金貸付事業		担当課	総務学事課		
根拠法令	大竹市奨学金貸付条例		関連計画			
取組の方針	奨学金の貸付と若者の定住促進のための返還免除制度を継続します。制度利用の漏れがないよう、周知を強化します。		概要	扶養者が市内居住者であり、経済的理由により修学が困難な生徒などに学資の貸付を行います。また、2年以上市内に居住し一定の要件を満たす返還義務者に対し、貸付金の返還を免除します。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	6,522	8,480	10,553	11,849	14,633	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	10,168	10,565	8,569	7,202	6,206
	一般財源	△ 3,646	△ 2,085	1,984	4,647	8,427
【事業指標】 奨学金新規貸付者数						
目標値		6人	10人	10人	10人	
実績値	4人					
取組内容	新規貸付者4名を含め15名に貸付を行いました。返還免除者は38名でした。 また高校への募集案内の配布、市広報・市ホームページへの掲載、受験雑誌への掲載などにより、制度の周知を行いました。	新規貸付者6名を含めた19名に貸付を行いました。また、返還免除者は33名でした。 引き続き、制度の周知を行います。	新規貸付者10名を含めた24名に貸付を行う予定です。また、返還免除者は35名の見込です。 引き続き、制度の周知を行います。	新規貸付者10名を含めた27名に貸付を行う予定です。また、返還免除者は35名の見込です。 引き続き、制度の周知を行います。	新規貸付者10名を含めた34名に貸付を行う予定です。また、返還免除者は35名の見込です。 引き続き、制度の周知を行います。	

4年間で実現したい姿		地域と学校の協働により、子どもたちの成長を支える体制ができています。児童が安全に放課後や長期休暇を過ごせる場所や学習できる機会が充実しています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 各事業の参加者や放課後児童クラブの利用者が、サービスに満足していることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合	【放課後子ども教室】 子どもの安心・安全かつ有意義な居場所を確保するため放課後や休日などにおいて、地域ボランティアの協力や各団体・企業などと連携して文化やスポーツや体験活動などを行う事業。 【らんらんカレッジ事業】 主に長期休暇などにおいて、企業、学校などと連携してものづくりや体験活動などを行う事業。 【放課後児童クラブ】 保護者が就労などで昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後に学校施設などを利用して適切な遊びと生活の場を提供することで、児童の健全育成を図る事業。	—	80%				85%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
8	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (地域と学校の連携協力)	生涯学習課					ひと
9	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室・らんらんカレッジ事業)	生涯学習課					ひと
10	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブの運営)	生涯学習課					ひと



実施計画事業 8

事業名	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (地域と学校の連携協力)		担当課	生涯学習課	
根拠法令	社会教育法	関連計画			
取組の方針	<p>●地域学校協働活動やコミュニティ・スクールと連携する組織体制づくりとして、各種地域団体などで構成する大竹市地域学校協働本部を設置し、地域と学校との連携協力体制の強化に取り組みます。</p> <p>●地域学校協働活動の普及啓発を行うとともに、活動を推進する役割を担う地域コーディネーター及び地域ボランティアの確保と育成に取り組みます。</p>		概要	大竹市地域学校協働本部を設置し、地域と学校との連携をとりながら、地域学校協働活動(放課後子ども教室事業、らんらんカレッジ事業)などを行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	0	0	0	0	0
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
【事業指標】 地域ボランティア(指導者を含む)の人数					
目標値		50人	50人	50人	50人
実績値	42人				
取組内容	地域の人と協働し、子ども達を指導したり、共に体験したり、安全管理をしたりする地域の人材を発掘して、放課後子ども教室事業を実施しました。	「大竹市地域学校協働本部」を設置し、地域の人材・団体などの協力を得ながら、学校との連携協働を強化して、学校内での放課後子ども教室の実施の増加を目指します。	地域の人材・団体などの協力を得ながら、学校との連携協働を強化して、学校内での放課後子ども教室の実施の増加を目指します。	地域の人材・団体などの協力を得ながら、学校との連携協働を強化して、学校内での放課後子ども教室の実施の増加を目指します。	地域の人材・団体などの協力を得ながら、学校との連携協働を強化して、学校内での放課後子ども教室の実施の増加を目指します。



## 実施計画事業 9

事業名	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室・らんらんカレッジ事業)		担当課	生涯学習課	
根拠法令	社会教育法	関連計画			
取組の方針	地域と学校との連携を強化することで、新たな指導者や協力者を発掘し、公民館や学校の空き教室などを活用した「放課後子ども教室」や長期休業日などに開催する「らんらんカレッジ事業」の充実に取り組みます。	概要	地域・各団体・企業などと連携し、文化スポーツ活動や体験活動などを行う「放課後子ども教室」、ものづくりや体験活動などを行う「らんらんカレッジ事業」を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	700	3,375	5,970	5,970	5,970
財源内訳	国県費	0	2,000	3,132	3,132
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	700	1,375	2,838	2,838
【事業指標】 放課後子ども教室の教室数					
目標値		9教室	11教室	12教室	12教室
実績値	9教室				
取組内容	新型コロナウイルスの影響で、栄公民館の夏の居場所づくりを中止しました。その他の教室は、定員を減らすなどの対策により、実施しました。	玖波・大竹地区の教室数や実施内容の充実図ります。	玖波・大竹地区の教室数や実施内容の充実図ります。	玖波・大竹地区の教室数や実施内容の充実図ります。	玖波・大竹地区の教室数や実施内容の充実図ります。
【事業指標】 おおたけっ子らんらんカレッジの教室数					
目標値		30教室	35教室	40教室	40教室
実績値	0教室				
取組内容	新型コロナウイルス感染拡大防止により開催をすべて中止しました。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら安全にできる限り実施します。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら安全にできる限り実施します。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら安全にできる限り実施します。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら安全にできる限り実施します。



実施計画事業 10

事業名	学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブの運営)			担当課	生涯学習課	
根拠法令	児童福祉法		関連計画			
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務の一部を民間事業者に委託することで、民間の運営ノウハウを取り入れた効果的かつ魅力的な運営を行います。</li> <li>●開所時間の延長などの利用ニーズに応じた多様なサービスの充実に取り組みます。</li> <li>●放課後子ども教室との一体的な取組や、多様な体験・交流・学びの機会の充実に取り組みます。</li> </ul>		概要	就労家庭の小学校児童などに対し、授業の終了後に学校施設などを利用して適切な遊びと生活の場を与える「放課後児童クラブ」の運営を行います。		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	51,752	62,530	62,632	63,848	63,848	
財源内訳	国県費	33,887	32,808	30,098	30,098	30,098
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,396	10,380	10,235	10,235	10,235
	一般財源	9,469	19,342	22,299	23,515	23,515
【事業指標】	放課後児童クラブにおける待機児童数					
目標値		0人	0人	0人	0人	
実績値	0人					
取組内容	みどり児童クラブ(小方小)において、年度途中から1クラス増設しました。	引き続き、学校の余裕教室活用のための連携や他施設活用の検討を進めます。	引き続き、学校の余裕教室活用のための連携や他施設活用の検討を進めます。	引き続き、学校の余裕教室活用のための連携や他施設活用の検討を進めます。	引き続き、学校の余裕教室活用のための連携や他施設活用の検討を進めます。	
【事業指標】	放課後児童クラブメールシステムの登録率					
目標値		100%	100%	100%	100%	
実績値	100%					
取組内容	平成28年度より、災害などにおける保護者などに対する緊急連絡メールシステムの運用を開始しました。「大雨警報」発令時の保護者の迎え要請などの連絡手段として、継続活用しました。	「大雨警報」発令時の保護者の迎え要請などの連絡手段として、緊急連絡メールシステムを継続活用します。	「大雨警報」発令時の保護者の迎え要請などの連絡手段として、緊急連絡メールシステムを継続活用します。	「大雨警報」発令時の保護者の迎え要請などの連絡手段として、緊急連絡メールシステムを継続活用します。	「大雨警報」発令時の保護者の迎え要請などの連絡手段として、緊急連絡メールシステムを継続活用します。	

## 【1-2 未来を担う青少年の健全な育成】

関連するSDGs17の目標

<b>4年間で実現したい姿</b>		<b>家庭・学校・地域が連携し、青少年を健全に育成する環境が整い、社会を生きる力や未来を担う創造性、チャレンジ精神、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを身につけた人材が育っています。</b>					
<b>KPI (重要業績評価指標)</b>	<b>【KPIの考え方】</b> 各事業に参加することが、将来、地域や社会で活躍するきっかけとなることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合		—	—				80%
<b>【実施計画事業】</b>		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策		総合戦略	
1	青少年育成事業(人材育成)	生涯学習課				ひと	
2	青少年育成事業(推進体制の充実)	生涯学習課				ひと	



実施計画事業 I

事業名	青少年育成事業(人材育成)			担当課	生涯学習課	
根拠法令				関連計画		
取組の方針	市の事業に参加した高校生・大学生・社会人が、地域や社会で活躍できるための知識や経験、ノウハウを獲得できる体制づくりに取り組みます。			概要	体験活動やグループワークなどを通じてリーダーに必要な力などを身に付ける 「ジュニアリーダー育成事業」、沖縄県豊見城市と中学生を派遣し合い、平和学習や体験学習、集団宿泊などを通じて交流する「中学生交歓交流事業」を行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	219	1,456	1,444	2,118	1,444	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	60	60	420	60
	一般財源	219	1,396	1,384	1,698	1,384
【事業指標】ジュニアリーダー育成事業の参加者数(小・中学生)						
目標値		45人	45人	45人	45人	
実績値	21人					
取組内容	体験活動やグループワークなどを通して大竹市のリーダーを育成する事業を次のとおり実施しました。 □大竹のさまざまなスポットを知る □防災に関する講演など、実際に自分たちで考え大竹のスポットを回る	チャレンジ講座とドリーム講座を行います。 【チャレンジ講座】体験活動などを通して、自主自立、チームワークを形成する力を育みます。 【ドリーム講座】市内外で活躍している方を講師に招聘し、世界や全国で活躍できるきっかけ作りをします。	チャレンジ講座とドリーム講座を行います。 【チャレンジ講座】体験活動などを通して、自主自立、チームワークを形成する力を育みます。 【ドリーム講座】市内外で活躍している方を講師に招聘し、世界や全国で活躍できるきっかけ作りをします。	チャレンジ講座とドリーム講座を行います。 【チャレンジ講座】体験活動などを通して、自主自立、チームワークを形成する力を育みます。 【ドリーム講座】市内外で活躍している方を講師に招聘し、世界や全国で活躍できるきっかけ作りをします。	チャレンジ講座とドリーム講座を行います。 【チャレンジ講座】体験活動などを通して、自主自立、チームワークを形成する力を育みます。 【ドリーム講座】市内外で活躍している方を講師に招聘し、世界や全国で活躍できるきっかけ作りをします。	
【事業指標】中学生交歓交流事業の参加者数(大竹市分)						
目標値		10人	10人	10人	10人	
実績値	0人					
取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。	沖縄県豊見城市の中学生を迎え入れ、学習や交流機会を提供します。	本市の中学生が沖縄県豊見城市を訪問し、中学生と学習や交流を行います。	沖縄県豊見城市の中学生を迎え入れ、学習や交流機会を提供します。	



実施計画事業 2

事業名	青少年育成事業(推進体制の充実)			担当課	生涯学習課
根拠法令				関連計画	
取組の方針	家庭・学校・地域の幅広い分野の構成員で編成された組織体制を構築し、青少年問題対策に向けた積極的な活動を行います。		概要	青少年問題協議会、青少年非行防止実行委員会、青少年育成センターの運営のほか、PTA活動や青少年健全育成団体への補助などを行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	164	989	978	978	978
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	164	989	978	978
【事業指標】 青少年問題協議会を構成する団体数					
目標値		23団体	23団体	24団体	24団体
実績値		23団体			
取組内容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青少年問題協議会を審議にて実施し、善行をした少年に対して表彰を行いました。</p>	<p>青少年問題協議会を開催し、青少年に関する事項について関係団体と情報を共有するとともに、善行をした少年に対して表彰を行います。</p> <p>既に新たな青少年問題協議会(構成団体の任期は2年)が始まっているため、新たな任期を迎える令和5年度までに、団体登録数の増加を目指します。</p>	<p>青少年問題協議会を開催し、青少年に関する事項について関係団体と情報を共有するとともに、善行をした少年に対して表彰を行います。</p> <p>既に新たな青少年問題協議会(構成団体の任期は2年)が始まっているため、新たな任期を迎える令和5年度までに、団体登録数の増加を目指します。</p>	<p>青少年問題協議会を開催し、青少年に関する事項について関係団体と情報を共有するとともに、善行をした少年に対して表彰を行います。</p>	<p>青少年問題協議会を開催し、青少年に関する事項について関係団体と情報を共有するとともに、善行をした少年に対して表彰を行います。</p>

【1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 文化祭や公民館等まつり、生涯学習講座などへの参加を通じて、文化・芸術などに親しんだり、さまざまな体験や学びを得ることで、心の豊かさや地域づくりの大切さを養うことができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
文化祭・公民館等まつりの参加者数(発表者・来場者)		8,401人	13,637人				13,300人
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 図書館の図書を通じてさまざまな教養に触れ、心豊かに楽しく自分らしく学ぶ市民が増えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市民1人あたりの図書館の貸出点数		4.3点	4.0点				4.4点
【実施計画事業】	担当課	国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策				総合戦略	
1 生涯学習推進事業 (生涯学習グループ支援、文化祭)	生涯学習課					ひと	
2 生涯学習推進事業 (社会教育事業)	生涯学習課					ひと	
3 図書館運営事業	生涯学習課					まち	



## 実施計画事業 I

事業名	生涯学習推進事業 (生涯学習グループ支援、文化祭)			担当課	生涯学習課
根拠法令	社会教育法		関連計画		
取組の方針	<p>●生涯学習グループの支援・育成を行うとともに、学習活動の発表の場を提供します。</p> <p>●芸術・文化活動を実践したり鑑賞するための文化祭を、文化協会と連携して開催します。学校などに参加を呼びかけるなど、参加者の拡大に取り組みます。</p>		概要	<p>生涯学習グループの支援・育成を行うとともに、1年間の学習活動の発表の場として公民館まつりなどを開催します。</p> <p>また、大竹市文化協会と連携して、文化祭を開催します。</p>	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	284	1,169	1,169	1,169	1,169
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	284	1,169	1,169	1,169
【事業指標】 公民館まつり、総合市民会館まつりの展示・発表グループ数					
目標値		50グループ	80グループ	100グループ	100グループ
実績値		41グループ			
取組内容	<p>例年、公民館まつりなどの参加グループ数は、120弱でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各館のロビーで展示し、発表は大竹会館・栄公民館・総合市民会館の3館合同と玖波公民館の2か所で無観客による録画ネット配信を行いました。</p> <p>文化祭は、文化祭功労者の表彰と川柳大会のみ開催しました。</p> <p>グループ活動への支援、育成を行うと共に、公民館まつりなどや文化祭への積極的な参加を呼びかけます。</p> <p>グループ活動への支援、育成を行うと共に、公民館まつりなどや文化祭への積極的な参加を呼びかけます。</p> <p>グループ活動への支援、育成を行うと共に、公民館まつりなどや文化祭への積極的な参加を呼びかけます。</p>				



実施計画事業 2

事業名	生涯学習推進事業(社会教育事業)			担当課	生涯学習課
根拠法令	社会教育法		関連計画	生涯学習推進基本計画	
取組の方針	<p>●協働による地域づくりにつなげるための講座・講演会などの社会教育事業を充実させるとともに、市民の学習活動を支援します。</p> <p>●ライフステージに応じた多彩な学習の機会を提供していきます。</p>		概要	地域社会のニーズを踏まえた社会教育講座や講演会を開催します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	427	1,180	1,516	1,516	1,516
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	120	0	0	0
	一般財源	307	1,180	1,516	1,516
【事業指標】 公民館などで開催する年間講座数					
目標値		40講座	45講座	50講座	50講座
実績値	34講座				
取組内容	<p>新型コロナウイルスの影響により、講座などの開催が困難でしたが、定員を減らしたり、3密を避けるなどの対策を講じて、開催しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止として、インターネット回線を活用した講座も新たに企画し、その操作方法を学ぶものや、キャッシュレス推進のためのスマホ講座などにも取り組みました。</p> <p>公民館事業をきっかけに、施設への固定客や協働による地域づくりへの参画者が増加するように、多種多様な事業を実施していきます。</p> <p>公民館事業をきっかけに、施設への固定客や協働による地域づくりへの参画者が増加するように、多種多様な事業を実施していきます。</p> <p>公民館事業をきっかけに、施設への固定客や協働による地域づくりへの参画者が増加するように、多種多様な事業を実施していきます。</p>				



実施計画事業 3

事業名	図書館運営事業				担当課	生涯学習課
根拠法令	社会教育法		関連計画	大竹市子どもの読書活動推進計画		
取組の方針	<p>●豊かな人生を創造する生涯学習を推進するため、読書推進活動の積極的な実施などによる図書館運営の充実に取り組みます。併せて公民館などの一部にも図書を設置し、学習機会の充実に取り組みます。</p> <p>●市民の暮らしに役立つ資料などのほか、郷土資料の収集を行うことにより、広い世代の利用者の増加につなげます。</p> <p>●乳幼児の豊かな心の育成のため、読み聞かせなど、乳幼児が絵本にふれあう機会を充実させます。</p>		概要	<p>利用者のニーズに応じた図書・資料の確保、貸出サービス、レファレンスサービス、読書推進活動(おはなし会、巡回図書事業、各学校への団体貸出、えほんでハートフル事業など)を行います。</p> <p>【レファレンスサービス】 図書館の資料を使い調べ物をサポートするサービス。</p>		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業費(千円)	7,576	9,793	9,793	9,793	9,793	
財源内訳	国県費	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,576	9,793	9,793	9,793	9,793
【事業指標】 図書館で開催する年間行事数						
目標値		15事業	15事業	15事業	15事業	
実績値	7事業					
取組内容	<p>新型コロナウイルスの影響で一部行事の中止や利用を制限したこともあり、利用者が減少しました。しかし子供の読書推進事業の実施や、来館できない子どものために「お家で楽しくリンク集」を市ホームページに掲載するなど工夫してサービスを維持しました。</p>		引き続き資料の収集、貸出、レファレンスサービスの充実に努め、読書推進事業への積極的な参加を呼びかけます。	引き続き資料の収集、貸出、レファレンスサービスの充実に努め、読書推進事業への積極的な参加を呼びかけます。	引き続き資料の収集、貸出、レファレンスサービスの充実に努め、読書推進事業への積極的な参加を呼びかけます。	引き続き資料の収集、貸出、レファレンスサービスの充実に努め、読書推進事業への積極的な参加を呼びかけます。

## 【1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進】

関連するSDGs17の目標

4年間で実現したい姿		スポーツへの関心が高まり、指導者やボランティアが増え、子どもや高齢者などが元気にスポーツを楽しんでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 誰もが参加しやすいスポーツ大会やイベント等を企画・実施することは、市民のスポーツへの関心及び参加を増やすとともに、健康で活力ある生活につながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
スポーツ大会の参加者数		189,402人	134,923人				210,000人
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 指導者(体育委員やボランティア)の数が増えることは、市民のスポーツへの関心及び参加を増やすとともに、仲間づくりや生きがいづくりにもつながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
指導者(体育委員やボランティア)の数		128人	129人				170人
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	スポーツ振興事業(スポーツの普及)	生涯学習課					まち
2	スポーツ振興事業(推進体制の充実)	生涯学習課					まち



実施計画事業 I

事業名	スポーツ振興事業(スポーツの普及)			担当課	生涯学習課
根拠法令				関連計画	
取組の方針	<p>●スポーツ団体などと連携し、誰もが参加しやすい子ども向けスポーツ教室の増加に取り組みます。</p> <p>●より多くの高齢者が参加できるよう、多様な生涯スポーツの普及に取り組みます。</p>			概要	大竹市全地区を対象に、スポーツ活動の増進に取り組み、子どもの成長と市民の健康づくりを目指します。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	4,549	7,758	7,324	7,324	7,324
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	3,481	3,915	6	6
	一般財源	1,068	3,843	7,318	7,318
【事業指標】 子ども向けスポーツ大会及び教室の開催数					
目標値		2件	2件	2件	2件
実績値	0件				
取組内容	<p>ランランふれあいマラソン大会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>体育協会・総合型地域スポーツクラブに補助金を出しました。</p> <p>体育協会に社会体育行事等の業務と「卓球の日」運営業務を委託しました。</p>	<p>体育協会・総合型地域スポーツクラブに補助金を出します。(令和3年度からランランふれあいマラソン大会は総合型地域スポーツクラブが主催となります。)</p> <p>総合型地域スポーツクラブの小学生などを対象にしたニュースポーツ教室体験会に協賛しています。</p>	<p>体育協会・総合型地域スポーツクラブに補助金を出します。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ主催の体験型スポーツ教室の開催に協賛します。</p>	<p>体育協会・総合型地域スポーツクラブに補助金を出します。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ主催の体験型スポーツ教室の開催に協賛します。</p>	<p>体育協会・総合型地域スポーツクラブに補助金を出します。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ主催の体験型スポーツ教室の開催に協賛します。</p>

【1-4】

## I\_教育・文化

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【事業指標】地域のスポーツ大会及び教室の開催数					
目 標 値		4件	4件	4件	4件
実 績 値	0件				
取 組 内 容	市民ターゲットバードゴルフ・自治会 対抗ラージボール大会・市民グラウンド ゴルフ大会を、新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止しました。	市民ターゲットバードゴルフ・自治会 対抗ラージボール大会・市民グラウンド ゴルフ大会の開催を予定(5 月開催予定だったター ゲットバードゴルフは中止) しています。 また、もう1 種目(カローリング大会)の開 催も予定しています。	市民ターゲットバードゴルフ、自治 会対抗ラージボール大会、市民グラウン ドゴルフ大会、カ ローリング大会の開 催に取り組みます。	市民ターゲットバードゴルフ、自治 会対抗ラージボール大会、市民グラウン ドゴルフ大会、カ ローリング大会の開 催に取り組みます。	市民ターゲットバードゴルフ、自治 会対抗ラージボール大会、市民グラウン ドゴルフ大会、カ ローリング大会の開 催に取り組みます。



実施計画事業 2

事業名	スポーツ振興事業(推進体制の充実)			担当課	生涯学習課
根拠法令	大竹市スポーツ推進委員に関する規則	関連計画			
取組の方針	指導者育成に向けた研修会の企画・実施を行いながら、新たに、スポーツ推進委員と連携して地区体育委員やスポーツボランティアを広く公募し、総合型地域スポーツクラブなどが開催する研修会・教室への積極的な参加を呼びかけます。			概要 スポーツ活動の増進をけん引する指導者を養成し、市内各地でのスポーツ活動増進に取り組み、市民の健康づくりを目指します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	—	2,411	2,452	2,452	2,452
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,411	2,452	2,452	2,452
【事業指標】 指導者向け研修会・教室の開催数					
目標値		5件	5件	5件	5件
実績値	—				
取組内容	※令和3年度からの事業	各種スポーツ大会への協力を行います。 月ごとの定例会で、毎回異なる種目のニュースポーツの実技を行います、推進員同士の知識を深めています。今後、それを地域に広めていく取組を行います。	各種スポーツ大会への協力を行います。地区体育委員と協力し、各地区にニュースポーツを根付かせることで、地域の健康づくりや住民同士の繋がりの向上に取り組みます。	各種スポーツ大会への協力を行います。地区体育委員と協力し、各地区にニュースポーツを根付かせることで、地域の健康づくりや住民同士の繋がりの向上に取り組みます。	各種スポーツ大会への協力を行います。地区体育委員と協力し、各地区にニュースポーツを根付かせることで、地域の健康づくりや住民同士の繋がりの向上に取り組みます。

## 【1-5 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進】

関連するSDGs17の目標

4年間で実現したい姿	市の文化財や郷土の歴史を学ぶ機会が充実し、郷土の歴史、伝統文化の継承に関心を持つ人が増えています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市の伝統工芸である「手すき和紙」の製造などに関わる人が増えることで、伝統文化の価値や魅力を高めながら次の世代に継承することが期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
手すき和紙ボランティア参加者数		443人	318人				450人
【実施計画事業】	担当課	国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策					総合戦略
1 文化財保護事業	生涯学習課						まち



実施計画事業 I

事業名	文化財保護事業			担当課	生涯学習課
根拠法令	文化財保護法	関連計画			
取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関係団体と連携し、手すき和紙などの伝統文化の保存・継承を進めます。</li> <li>●学校で文化財や郷土の歴史を学ぶ機会をつくります。</li> <li>●郷土の歴史、文化財の掘り起こし・保存・活用を進め、市全体で文化財保護や郷土の歴史を継承する機運を高めます。</li> </ul>			概要	未指定文化財の調査、市重要文化財への指定、説明板の設置やリーフレットの作成など、地域の文化財の掘り起こしを行います。また、手すき和紙保存や無形文化財伝承者育成に対する支援や講座の開催などを行います。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	3,571	4,505	4,698	4,698	4,698
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,571	4,505	4,698	4,698
【事業指標】文化財などの普及啓発を目的として行った事業数					
目標値		6事業	10事業	10事業	10事業
実績値	10事業				
取組内容	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 手すき和紙体験・展示 5回 <input type="checkbox"/> 文化財発掘調査見学など 2回 <input type="checkbox"/> リーフレット作成 2部 <input type="checkbox"/> 文化財説明板補修 1箇所	次のことを行いました。 <input type="checkbox"/> 手すき和紙体験・展示 7回 <input type="checkbox"/> 文化財発掘調査報告会 1回 <input type="checkbox"/> リーフレット作成 1部 <input type="checkbox"/> 文化財説明板製作 1箇所	引き続き、手すき和紙の体験や展示、歴史研究会委託事業(文化財説明板の設置や補修)などを行います。	引き続き、手すき和紙の体験や展示、歴史研究会委託事業(文化財説明板の設置や補修)などを行います。	引き続き、手すき和紙の体験や展示、歴史研究会委託事業(文化財説明板の設置や補修)などを行います。
【事業指標】手すき和紙作業所における体験・見学者数					
目標値		300人	350人	400人	450人
実績値	268人				
取組内容	次のことを行いました。(指定管理者) <input type="checkbox"/> 紙すき体験(はがき判・A4判) <input type="checkbox"/> 施設見学	次のことを行いました。(指定管理者) <input type="checkbox"/> 紙すき体験(はがき判・A4判) <input type="checkbox"/> 施設見学 <input type="checkbox"/> 体験教室の実施	引き続き、紙すき体験(はがき判・A4判)、施設見学を行います。その他体験学習の機会を提供します。	引き続き、紙すき体験(はがき判・A4判)、施設見学を行います。その他体験学習の機会を提供します。	引き続き、紙すき体験(はがき判・A4判)、施設見学を行います。その他体験学習の機会を提供します。

【1-6 人権と多様性を尊重する社会づくり】

関連するSDGs17の目標



4年間で実現したい姿		人権問題を自分のこととして考えるための啓発や支援が進み、誰もが自分らしく、ありのままにいられる社会に向かっていきます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 誰もが自分らしく、ありのままにいられる社会の実現には、人権を尊重した行動ができる人づくり、人権が尊重される地域づくりを進め、「人権が守られている」と感じる市民が増えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「自分自身の人権が保障されている」と答えた人の割合		—	—				50%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
1	人権啓発推進事業	自治振興課					

実施計画事業 I

事業名	人権啓発推進事業			担当課	自治振興課
根拠法令	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	関連計画	大竹市人権教育、啓発推進指針		
取組の方針	<p>●学校や保育所などでの人権啓発に取り組みます。</p> <p>●人権擁護委員や市民グループと連携して、一般向けの人権啓発の強化に取り組みます。</p>		概要	人権擁護委員や市民グループなどと連携して、学校や保育所などでの人権教室を開催します。また、人権に関する講演会、啓発活動や人権相談などを行います。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	249	306	786	786	786
財源内訳	国県費	47	47	47	47
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	202	259	739	739
【事業指標】 人権教室の実施回数					
目標値		5回	10回	10回	10回
実績値	0回				
取組内容	<p>□人権教室と街頭啓発活動は、新型コロナウイルスの影響で中止しました。</p> <p>□人権の花運動として、対象小学校にチューリップの球根やプランターなどを贈呈しました。</p> <p>□人権擁護委員による電話での人権相談を行いました。</p> <p>□廿日市人権擁護委員協議会との共催で、市内の小学生・中学生を対象に「おもいやり川柳コンテスト」を実施しました。</p>	<p>□人権教室と街頭啓発活動は、新型コロナウイルスの影響で中止しました。</p> <p>□人権啓発物品を作成し、成人のつどいや人権講演会で配布したり、公共施設の窓口に備え付けるなど、啓発を行いました。</p> <p>□人権の花運動として、対象小学校にチューリップの球根やプランターなどを贈呈しました。</p> <p>□人権擁護委員による特設人権相談所を開設しました。</p>	<p>□小学校や保育所などで人権擁護委員と人権教室を開催します。</p> <p>□人権擁護委員、人権問題啓発活動推進者の会の会員と街頭啓発活動を実施します。</p> <p>□人権の花運動として、対象小学校にチューリップの球根やプランターなどを贈呈します。</p> <p>□人権擁護委員による特設人権相談所を開設、または電話相談を実施します。</p>	<p>□小学校や保育所などで人権擁護委員と人権教室を開催します。</p> <p>□人権擁護委員、人権問題啓発活動推進者の会の会員と街頭啓発活動を実施します。</p> <p>□人権の花運動として、対象小学校にチューリップの球根やプランターなどを贈呈します。</p> <p>□人権擁護委員による特設人権相談所を開設、または電話相談を実施します。</p>	<p>□小学校や保育所などで人権擁護委員と人権教室を開催します。</p> <p>□人権擁護委員、人権問題啓発活動推進者の会の会員と街頭啓発活動を実施します。</p> <p>□人権の花運動として、対象小学校にチューリップの球根やプランターなどを贈呈します。</p> <p>□人権擁護委員による特設人権相談所を開設、または電話相談を実施します。</p>

4年間で実現したい姿		誰もが対等な社会の構成員として、あらゆる分野の活動に参画する機会が確保される社会の形成に向けた取組が進んでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 男女共同参画プランの目標である政策・方針決定過程などへの女性の参画を進めるため、審議会などの委員への女性参画比率を向上させることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
女性の審議会等委員への参画比率		19.1%	18.8%				30%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
2	男女共同参画推進事業	自治振興課					

実施計画事業 2

事業名	男女共同参画推進事業			担当課	自治振興課
根拠法令	男女共同参画社会基本法		関連計画	おおたけ男女共同参画プラン	
取組の方針	「男女共同参画プラン」により、地域や職場など社会の様々な活動分野への女性の参画を促進します。		概要	男女共同参画社会の実現に向けた啓発を行います。市ホームページなどで、男女共同参画関係の情報を発信します。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	149	12	15	15	15
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	149	12	15	15
【事業指標】 男女共同参画啓発活動の実施回数					
目標値		2回	2回	2回	2回
実績値	2回				
取組内容	<input type="checkbox"/> 市ホームページで、男女共同参画関係の情報を発信しました。 <input type="checkbox"/> 意識や実態の把握、及び調査を実施することに伴う意識啓発を目的として、市民と民間事業所を対象に人権意識調査アンケートを実施しました。	<input type="checkbox"/> 市ホームページで、男女共同参画関係の情報を発信しました。 <input type="checkbox"/> 人権問題啓発活動推進者の会と共催、大竹市教育委員会の後援で、「女も・男も成熟社会をめざして～男女共同参画をすすめるためには～」と題して、公開講演会を開催しました。	市ホームページなどで、男女共同参画関係の情報を掲載するなど情報発信します。	市ホームページなどで、男女共同参画関係の情報を掲載するなど情報発信します。	市ホームページなどで、男女共同参画関係の情報を掲載するなど情報発信します。

<b>4年間で実現したい姿</b>		<b>国際感覚の豊かな人が増え、多文化への理解が進んでいます。</b>					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 多文化共生の推進は、外国籍の市民が「地域が他国の文化への理解がある」と実感できていることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
	「地域が他国の文化への理解がある」と答えた外国籍の市民の割合	—	—				50%
【実施計画事業】		担当課		国土強靱化地域計画 [別冊]個別事業一覧 リスクシナリオ対応方策			総合戦略
3	多文化共生促進事業	企画財政課					

## 実施計画事業 3

事業名	多文化共生促進事業			担当課	企画財政課
根拠法令				関連計画	
取組の方針	<p>●他の国の歴史や文化に接する機会や外国籍の人との交流機会を増やします。</p> <p>●「やさしい日本語」の普及・理解促進のための講座を充実させるとともに、「やさしい日本語」を用いた行政情報の発信の充実に取り組みます。</p>			概要	本市に居住、通勤する外国籍の市民が地域の中で住みやすさを実感できるよう、国際理解促進に向けて取り組む大竹国際交流協会の事業への補助や、行政情報の多言語化、「やさしい日本語」の普及その他多文化に対する理解促進のための事業を行います。
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業費(千円)	2,721	2,610	2,854	2,610	2,610
財源内訳	国県費	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,721	2,610	2,854	2,610
【事業指標】国際理解講演会の参加者数					
目標値		50人	50人	50人	50人
実績値	0人				
取組内容	新型コロナウイルスの影響により、開催しませんでした。	新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、オンライン・動画配信などの方法を検討し、講演会参加者の確保及び多文化への理解の促進に取り組みます。	講演会参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人に多文化に触れてもらう機会を創出します。	講演会参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人に多文化に触れてもらう機会を創出します。	講演会参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人に多文化に触れてもらう機会を創出します。

【1-6】

## I\_教育・文化

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
【事業指標】 やさしい日本語講座の参加者数					
目 標 値		30人	50人	50人	50人
実 績 値	0人				
取 組 内 容	<p>新型コロナウイルスの影響により、開催しませんでした。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、オンライン・動画配信などの方法を検討し、講座参加者の確保及び外国籍の市民とのコミュニケーション能力の向上、多文化共生意識の醸成に取り組みます。</p>	<p>講座参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人にやさしい日本語に触れてもらう機会を創出します。</p> <p>講座の開催だけでなく、行政が発信する情報へのやさしい日本語の活用や、やさしい日本語による外国籍の人への情報発信にも取り組みます。</p>	<p>講座参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人にやさしい日本語に触れてもらう機会を創出します。</p> <p>講座の開催だけでなく、行政が発信する情報へのやさしい日本語の活用や、やさしい日本語による外国籍の人への情報発信にも取り組みます。</p>	<p>講座参加者の増加に向けて、周知方法などを検討し、より多くの人にやさしい日本語に触れてもらう機会を創出します。</p> <p>講座の開催だけでなく、行政が発信する情報へのやさしい日本語の活用や、やさしい日本語による外国籍の人への情報発信にも取り組みます。</p>

I\_教育・文化

■「教育・文化」に関するSDGs指標一覧

施策	SDGs指標		実績値	データ時点 データ元
施策1-1 児童・生徒の学びと育ちを支える教育の充実		人口1人当たりの教育費 (教育費/総人口)	32千円	令和3年3月31日 大竹市決算カード「教育費」/「住民基本台帳に基づく人口」
		学校におけるコンピューターの設置割合	5.8人/台	令和3年3月31日 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」
		学校での暴力行為発生件数 (1,000人当たり)	5.73件	令和3年3月31日 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
施策1-3 学びを支援し生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進		人口1人当たりの社会教育施設割合((公民館、図書館、博物館、青少年教育施設、女性教育施設、体育施設、劇場、音楽堂等、生涯学習センターの合計)/総人口)	0.00026館/人	令和3年4月1日 「社会教育調査」/「住民基本台帳に基づく人口」
		可住地面積当たりの図書館数 (図書館数/可住地面積)	0.0498館/Km <sup>2</sup>	令和3年4月1日 「公共施設状況調経年比較表」
施策1-6 一人ひとりの人権と多様性を尊重する社会づくり		家事従事者に関するジェンダーパリティ指数 (家事に従事する女性の人数/女性の労働力人口)/(家事に従事する男性の人数/男性の労働力人口)	—	令和2年10月1日 「国勢調査」
		役員の女性の割合 (女性の役員数/役員数)	—	令和2年10月1日 「国勢調査」
		市議会議員の女性の割合 (女性の市議会議員数/市議会議員数)	6.3%	令和3年4月1日 実績値